



### ■ビジネスデータサイエンス学部のQ&A

#### 1. どのような入試があるか。

一般入試では「英語」「国語」「地理歴史、公民または数学」の3教科型入試と「英語」「数学」の2教科型入試を行う。3教科型なら数学を選択せずに受験が可能で、文系、理系を問わず幅広く学生を募集する。他に総合型選抜も実施予定。

#### 2. 数学が苦手だが、どの程度の知識が必要か。

高校で学ぶ数学の全範囲が必要というわけではない。新学部では数学の入門科目を設置し、すべての学生がデータサイエンスを学ぶ上で必要な素養である数学の基礎的知識を理解できるようにしている。数学が苦手でも、必要性を理解して楽しく学ぶことができる。

#### 3. 学ぶ場所はどこか。

2023年10月に開設した吹田みらいキャンパス。新学部の学生が学ぶ教室のほか、国際学生寮やグラウンドなどがある。企業、自治体との連携だけでなく、留学生との交流やクラブ活動など多彩な人が集まる活気あふれる場所で学ぶことができる。

**関西大学 2025年度入試のポイント**

■【一般入試】**共通テスト利用入試(併用)**  
2/5・6・7は札幌から沖縄まで全国29都市で受験可能。※2/1～2/4は全国14都市で受験可能。

■【一般入試】  
法・文・経済・政策創造・人間健康・社会安全学部の一般入試 全学日程1 2教科型【英語外部試験利用方式】で、選考方法を変更。

■【一般入試】  
外国語学部の一般入試 全学日程2 2教科型【英語+1教科選択方式】で、対象となる英語外部試験を3試験に変更。

■【共通テスト利用入試】  
全ての学部の共通テスト利用入試で、大学入学共通テストの「情報I」を選択科目として追加

**“返還義務のない”関大独自の奨学金!**  
**「学の実化(じつげ)」**  
**入学前予約採用型給付奨学金**

関西大学では、入学試験の出願前に採用内定が決定する[返還義務のない]給付奨学金制度を実施。同奨学金に申請し、採用内定となった受験生は、一般入試・共通テスト利用入試を受験し、合格・入学することで正式に奨学生として採用されます。

申請資格を満たせば誰もが採用内定となり、給付金額は、関西圏内からの進学者が年額30万～45万円、関西圏外からの進学者が年額40万～55万円で、原則4年間(継続審査あり)の給付(返還不要)となります。

関西大学では、入学試験の出願前に採用内定が決定する[返還義務のない]給付奨学金制度を実施。同奨学金に申請し、採用内定となった受験生は、一般入試・共通テスト利用入試を受験し、合格・入学することで正式に奨学生として採用されます。



現代は「データ駆動型社会」と言われ、ICTなどの進化により爆発的に増えたビッグデータを、AIなどを活用して解析し、さまざまな課題の解決や新たな価値創造につなげることが重要となっています。時代を先取りした教育、研究、社会貢献、組織運営を展開してきた関西大学では現在、「関西大学DX推進構想」に基づき、「考動力」や「革新力」を育む教育の実践やインクルーシブ(包括的)な教育の推進学修成果の可視化に取り組んでいます。なかでもDX人材の育成に注力し、2021年より全学生を対象にしたリテラシー教育として「AI・データサイエンス教育プログラム」を開設しています。

カリキュラムには、入門科目と実践基礎、実践応用の3段階の科目が設定された全学生対象の「共通教養長を後押しします。

関西大学では、入学試験の出願前に採用内定が決定する[返還義務のない]給付奨学金制度を実施。同奨学金に申請し、採用内定となった受験生は、一般入試・共通テスト利用入試を受験し、合格・入学することで正式に奨学生として採用されます。

関西大学では、入学試験の出願前に採用内定が決定する[返還義務のない]給付奨学金制度を実施。同奨学金に申請し、採用内定となった受験生は、一般入試・共通テスト利用入試を受験し、合格・入学することで正式に奨学生として採用されます。

融業、シンクタンク、コンサルティング会社、ベンチャー企業、教育・研究者など多岐にわたっています。まさにビジネス現場の最前線で活躍する多様な道が拓けているのです。 鷲尾隆学部長(就任予定)は、「データを利用して社会の課題解決あるいは快適なサービスを提供できる人材は、企業のみならず行政やNPOなどあらゆる組織で必要とされています。ぜひこのチャンスを生かして共に学んでいきましょう」と

現代は「データ駆動型社会」と言われ、ICTなどの進化により爆発的に増えたビッグデータを、AIなどを活用して解析し、さまざまな課題の解決や新たな価値創造につなげることが重要となっています。時代を先取りした教育、研究、社会貢献、組織運営を展開してきた関西大学では現在、「関西大学DX推進構想」に基づき、「考動力」や「革新力」を育む教育の実践やインクルーシブ(包括的)な教育の推進学修成果の可視化に取り組んでいます。なかでもDX人材の育成に注力し、2021年より全学生を対象にしたリテラシー教育として「AI・データサイエンス教育プログラム」を開設しています。

このうち「入門科目(リテラシーレベル)」では、データの統計学的な取り扱いとAI特有のデータ処理技法に関する知識を身につけます。「実践基礎(応用基礎レベル)」では、統計学に加えて機械学習・深層学習・フuzzy理論などの基礎理論の実践を交えて学修します。今後設置予定の「実践応用(エキスパートレベル)」では、与えられたさまざまな実践課題に対してデータサイエンス・AI技術を駆使して解答を見出していきます。

技術力と研究力を世界に発信する「大阪・関西万博」 社会の動きに合わせて新たな学びや取り組みを柔軟に取り入れるのも関西大学の特徴で、2025年の「大阪・関西万博」への参画も積極的に進めています。「Kandai Vision 150」では「未来を問い、そして挑戦する。」を合言葉にしていますが、万博への参画はまさにビジョンに掲げる挑戦そのものであると言えます。万博では、自由な思考と創造力を促進しながら、学際的研究や地域社会との協働、イノベーションなどを通じて持続可能な未来社会の実現に寄与するとともに、学生の能力を最大限に引き出します。

「関大万博部」というユニークな学生団体も誕生。学生クリエーターたちが、SDGsの学びを通して一人ひとりが輝くことができる企画作りに挑戦中です。例を挙げると、「非常食でつくる小鉢弁当プロジェクト」「国際交流&異文化体験プロジェクト」「関大クラフトコラボプロジェクト」など楽しい企画が並んでいます。 さらに、「関大万博Weeks」と銘打った関西大学独自の万博関連企画も実施する予定です。他大学や企業、自治体と連携し、キャンパス内で世界各国の留学生との異文化交流体験や子どもEXPO、関大EXPO食堂、「いのち輝く未来社会」をイメージしたデザイン展など様々なイベントをリアル×バーチャル空間のハイブリッドで実施します。 「これまでの学びにとらわれない、関西大学が作るImpact!これからもご期待ください」と、関西大学は皆さんに呼びかけています。



「未来を問い、そして挑戦する。」を掲げ多様性の時代を先導する「考動力」と「革新力」を備えた人材を育成

学びの特色は、①文理の枠にとらわれないきめ細やかな教育、②専門性を深める高度な教育環境、③実社会とつながったリアルな学び、④主体的な学びを促すアクティブラーニング科目の4つに集約されます。 具体的には、ゼミなど少人数の手厚い初年次教育でビジネスとデータサイエンスの双方の基礎知識を修得し、実務家を含めた国内屈指の経験豊かな教員陣による実践志向の専門

教育を展開。また、企業との連携による実データを活用した実践的な演習や産学連携プログラムへの参画を実施し、ビジネスとデータサイエンスの融合による課題発見・解決能力を身につける実践的教育を行います。 こうして新時代において混沌を突破し、リードできる人材、すなわち新たな価値を創造するビジネスデータサイエンティストを育成します。 現在の企業経営はデータに基づいた意

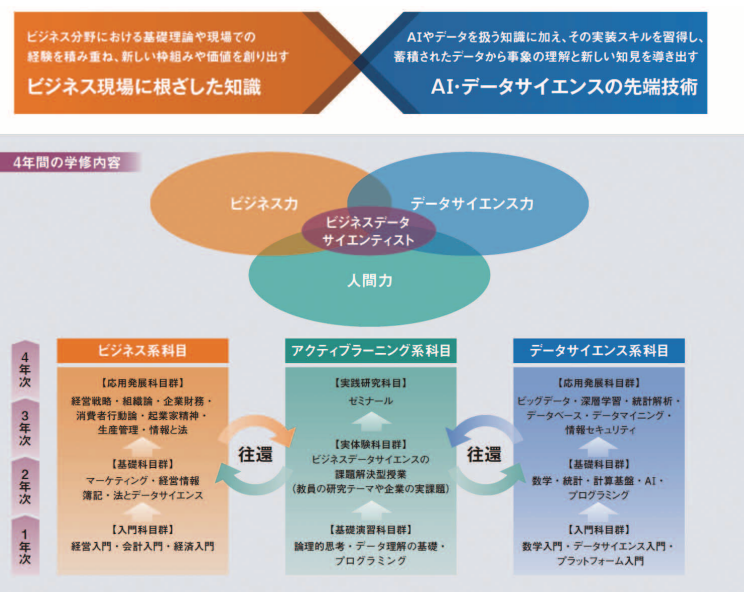
思決定が行われているため、卒業後のキャリアについては、業種を問わず特に経営企画やマーケティング戦略などの部署での活躍が期待されます。 学部開設に当たり、関西大学が実施した企業アンケートによると、1146社のうち88.6%に当たる1015社がビジネスデータサイエンス学部の卒業生を採用したいと期待を寄せています。想定される業界はIT産業、メディア、製造業、金

1886(明治19)年に関西法律学校として大阪の地に誕生した関西大学は現在、わが国屈指の私立総合大学へと発展しています。学理と実際の調和を説いた「学の実化(じつげ)」を学是に掲げ、ますます複雑化する社会の課題解決に貢献。創立150周年を見据えた長期ビジョン「Kandai Vision 150」では「未来を問い、そして挑戦する。」を掲げ、「考動力」と「革新力」を備えた人材を育成しています。 2023年には、5番目のキャンパスとして「吹田みらいキャンパス」を開設しました。そして来春、そのキャンパスに「ビジネスデータサイエンス学部」を開設します。また、来年4月に開幕する大阪・関西万博に積極的に参画し、関西大学の魅力や研究力を世界にアピールします。

# 関西大学

新たな価値を創造する データサイエンティストを育成する新学部が始動

## 関西大学から始まる、ビジネスデータサイエンスとは



「未来を問い、そして挑戦する。」を掲げ多様性の時代を先導する「考動力」と「革新力」を備えた人材を育成